

## 2. 火山の概況

(平成 16 年 11 月 11 日 ~ 平成 16 年 11 月 17 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では 14 日に中爆発があった。火山活動度レベル (以下レベルと記載) は 3。

伊豆大島では島の北西沖を震源とする有感地震が発生した。レベルは 1。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いている。レベルは 2。

霧島山の御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

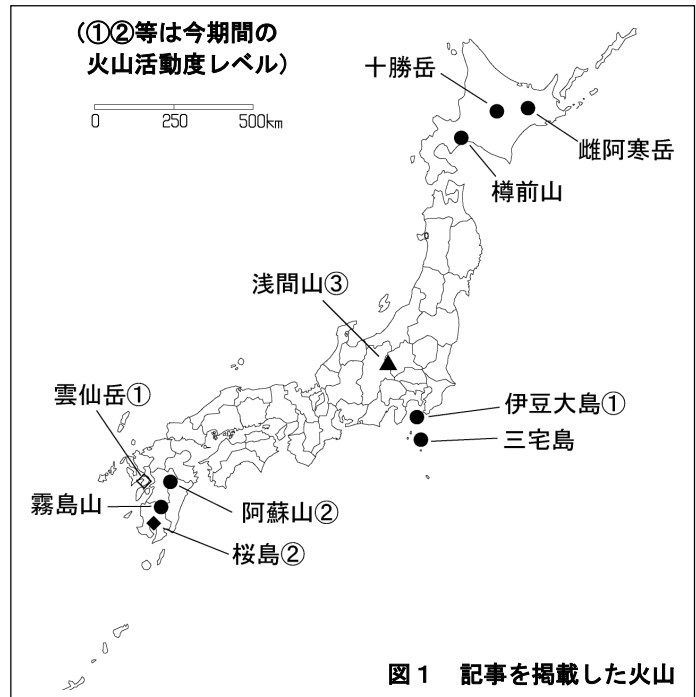


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	三宅島	須美寿島	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号								
47	11/11-11/17	③	▲	①	●	②	●	①	◇	②	◆	●	●	●	●		●		
46	11/4-11/10	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●	●		●	◆	◆
45	10/28-11/3	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	◆	●	●	▲
44	10/21-10/27	③	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	▲	▲
43	10/14-10/20	③	▲	①	●	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●		●		

注 1 記号の意味

- ▲: 噴火した火山
- : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆: 前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇: その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字: 火山活動度レベル

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

### ● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

### ● 十勝岳 [噴煙・熱・微動]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200m で推移した。

17 日 23 時 56 分頃から継続時間約 2 分の振幅の小さな微動が観測された。微動発生時の 62-2 火口の噴煙状況は悪天のため確認できなかった。地震活動や地殻変動に特段の変化はなかった。

### ● 樽前山 [熱]

A 火口および B 噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

### ▲ 浅間山 [爆発・噴火・噴石・火山雷・空振・火山礫・降灰・地殻変動・地震・微動・火映・熱] レベル 3 (山頂火口で小~中噴火の可能性)

14日20時59分に中爆発が発生し、山麓の監視カメラで、赤熱した噴石が火口の西～南西方向を中心に火口から2～2.5kmの山腹まで飛散するのが観測された。火山雷も観測された。火口の南約8kmの軽井沢測候所では、この爆発による73パスカルの空振と大きな爆発音が観測された（9月1日、23日及び29日に発生した中爆発では、それぞれ205、72及び30パスカルの空振を観測）。雲のため噴煙の状況は不明であったが、気象レーダーによる観測によれば、噴煙は火口縁上3,500～5,500mまで上がったと推定される。軽井沢警察署と東京大学地震研究所が噴火直後に行った調査によると、火口の東～北東約4kmの地点に数cm程度の大きさの火山礫が降下していた。また、降灰は栃木県益子町（火口の東約140km）を最遠に、長野県、群馬県及び栃木県で確認された（図2）。なお、中爆発の発生は9月29日以来である。この噴火に先立ち、13日の19時頃から、火口の北東約2.5kmに設置された傾斜計で山体が膨らむことを示すと推定される変化が観測されるとともに地震活動も活発化し、地震の発生回数は13日19時から噴火までの累計で200回を超えた。



**図2 浅間山 11月14日20時59分の中爆発による降灰分布**  
 気象官署、大学等研究機関、防災関係機関及び一般からの情報による  
 ●：降灰の報告があった地点  
 ○：降灰の報告がなかった主な地点

17日に行った上空からの観測<sup>1)</sup>では、前回(11月10日)に比べ、火口底の地形に大きな変化はなかった。赤外線カメラの観測では火口底の最高温度は464℃であった(10月28日の観測では375℃)。今期間の火山性地震の発生回数は1日当たり72～280回、火山性微動は1～17回で、ともに多い状態であった。また、中爆発の後、15～17日に各1回ごく小規模な噴火が発生した。火映は15～17日の夜間に山麓の高感度カメラで観測され、16、17日には肉眼でも観測された。

1) 群馬県防災ヘリコプターにより、東京大学地震研究所と気象庁が実施。

● **伊豆大島 [地震] レベル1 (静穏な火山活動)**  
 17日18時10分に島の北西沖を震源とする地震が発生し伊豆大島町元町で震度1が観測された。伊豆大島周辺を震源とする地震で震度1以上が観測されたのは今年10月17日以来である。

地震の前後を含め、その他には地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データに特段の変化はなかった。

● **三宅島 [噴煙・火山ガス・熱・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、最高で火口縁上500mまで上がった。

16日に上空から行った観測<sup>2)</sup>では火口内の地形に特に変化はみられず、赤外カメラによる観測では火口内の最高温度は121℃であった(前回(11月9日)は140℃)。火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は日量2,400～3,900トンで依然として多い状態であった。

振幅の小さいやや低周波の地震は1日あたり10～50回観測された。

2) 東京消防庁の協力による。

● **阿蘇山 [噴湯現象・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)**

16日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰緑色、量は約8割で前期間と変化なく、表面温度の最高は62℃(前期間は72℃)であった。湯だまりの西及び南西側で噴湯現象があった。湯だまり中央部の状況及び火口壁の温度は、噴煙のため観測できなかった。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上 400m（前期間 300m）であった。

火山性連続微動が 12 日に発生した。また、継続時間の短い火山性微動が 24 回発生し、前期間（53 回）より減少したもののやや多い状態であった。孤立型微動の発生回数は 331 回であった（前期間は 352 回）地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ **雲仙岳 レベル 1（静穏な火山活動）**

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● **霧島山 [噴気]**

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。16～17 日に時々噴気が監視カメラで観測され、その最高は火口縁上 50m であった。

◆ **桜島 レベル 2（比較的静穏な噴火活動）**

期間中、噴火はなかった（前期間は爆発的噴火 1 回）。噴煙活動も低調で、鹿児島地方气象台（南岳の西南西約 11 km）で降灰は観測されなかった（前期間もなし）。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 138 号	11 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、微弱な火映を観測）。レベルは 3。
	火山観測情報第 139 号	12 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし）。レベルは 3。
	火山観測情報第 140 号	13 日 16:00	
	火山観測情報第 141 号	14 日 00:30	傾斜計に変化が見られる。レベルは 3。
	火山観測情報第 142 号	14 日 08:30	傾斜計の変化継続。地震多い状態。レベルは 3。
	火山観測情報第 143 号	14 日 16:00	傾斜計の変化は小さくなる。地震多い状態。レベルは 3。
	火山観測情報第 144 号	14 日 21:15	20 時 59 分に中規模の爆発発生。測候所で大きな爆発音と中程度の空振、中腹以上に噴石の飛散を観測。レベルは 3。
	火山観測情報第 145 号	14 日 23:30	20 時 59 分の中爆発の続報（噴石の飛散状況、気象レーダーによる噴煙の状況、火山れき・降灰の分布）。レベルは 3。
	火山観測情報第 146 号	15 日 10:00	14 日 20 時 59 分の中爆発後の状況（噴火はなし、地震やや多い）。レベルは 3。
	火山観測情報第 147 号	15 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（14 日 20 時 59 分の中爆発後、噴火はなし）。レベルは 3。
	火山観測情報第 148 号	16 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（15 日 19 時 55 分、16 日 15 時 23 分にごく小規模な噴火発生、微弱な火映を観測）。レベルは 3。
火山観測情報第 149 号	17 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、微動やや多い、弱い火映を肉眼で観測）。レベルは 3。	
三宅島	火山観測情報第 630 号 ↓（1 日 2 回発表）	11 日 09:30 ↓	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第 643 号	17 日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第 54 号	12 日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの高温状態継続、噴湯現象あり、連続微動発生）。レベルは 2。